

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	八百津町立八百津小学校		
実 施 期 間	平成25年11月28日(木)		
実 施 概 要	・人権創作劇「メノラの灯」の上演・鑑賞 ・ひびきあい集会		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等  <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	55人	計 115人
	地域関係者	60人	
実 施 状 況	【11月28日(木)】 ◇10:35~11:40 「5・6年生の創作劇の公開」 ・八百津小学校体育館において八百津町が生んだ偉人「杉原千畝氏」をモチーフとした創作劇「メノラの灯」を保護者や祖父母、地域の人、そして児童たちに向けて上演した。今年度は8年前に「メノラの灯」の挿入歌を作曲された大嶋先生と、当時作詞をした後藤さんをお招きして、観劇する期待感やこの歌に込められた想いを話して頂いた。 ◇11:55~12:15 「ひびきあい集会」 ・6つの児童委員会が「思いやりプロジェクト1」として、みんなのために行った思いやり活動の1週間の取り組みを総括した。 ・全校児童が「思いやりプロジェクト2」として、1ボランティアを考え、短冊に書いた活動を振り返り、発表交流した。 ・「思いやりプロジェクト3」は、「OMOIYARIのうた」を各学級で練習し、全校児童で合唱をした。		
成果及び課題	<b>&lt;保護者や地域の感想&gt;</b> ・素晴らしい内容で、響きある歌声なので、八百津町だけの発表にしないで、広く上演してほしい。 ・毎年観劇しているが、子どもたちの真剣な演技や歌声にこの劇に対する心意気を感じた。ひびきあい集会では、子どもたちの温かい心が伝わってきて、思いやりの大切さを改めて感じた。家庭に帰って、もう一度子どもと向き合っていきたい。 <b>&lt;考 察&gt;</b> ・創作劇「メノラの灯」の上演は今回で8回目。児童数の減少で、難しさはあるが、高学年児童と職員みんなで創り上げようとする意気込みが観客者に伝わり、多くの方々から賞賛の声を頂くことができた。また、メノラの灯の創設に関わる来賓の方のお話も好評であった。		

